

0. 報告日：2011年 8月 12日(金)		
1.参加期間と場所：2011年 7月 25日(月)～30日(土) 大韓民国・釜山大学		
2.申請者と所属チーム		
資料作成者	(所属、学年) 大分大学大学院工学研究科 建設工学専攻博士前期課程1年 (氏名) 岩谷 直樹	(所属チーム名称) A4_JO5 (構成員氏名、大学、学年) 自身を含む員 Naoki IWAYA、大分大学、M1 Dong Gyun KIM, 九州大学、M1 Masato WADA, 九州大学、M1
3.感想と今後の抱負		
<p>私は今回の釜山大学校でのワークショップに参加し、多くの貴重な体験をすることができました。それらは、日本の学内で学んでいるだけでは得られないものだと感じました。</p> <p>まず、他大学、他国の学生の建築に対する意識、能力を目の当たりにすることができました。九州大学の学生が建築の知識や能力が高いことはすぐにわかりましたが、韓国・中国の学生もそれに劣っていませんでした。韓国・中国の学生は日本と作品の傾向も異なっており、スクラップ&ビルドの時代が終焉を迎えた日本と、まだまだこれから建設が盛んな中国、そのどちらに振れているともいえない韓国、という風に国柄から出てくる建築への意識の違いを学びとることができました。</p> <p>また、他国の学生の英語力の高さに驚かされました。特に中国の学生はネイティブと遜色ないレベルの英語力を持っていました。韓国の学生も中国の学生のそれに劣るにせよ、日本の学生より英語力は高かったように感じました。語学力の差は、プレゼンテーションでの力の差に顕著に表れていたと思います。自分の語学力に自信が持てないと、プレゼンテーションの説得力も増すことができないと感じました。</p> <p>本ワークショップで、私は他大学の学生の作業力と英語力を学ぶことができました。今後は、ワークショップ中に十分に使いこなすことができなかったPCソフトウェアの能力を上げることで、自分のポートフォリオの質を高めること、また英語力の向上を図ることを今後の抱負として掲げます。今後の自分に大いに役立つであろう貴重な経験になりました。このような実習の機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。</p>		
4. 提案作品		
タイトル	Overlay and Insertion New Layer	概要 40 階段周辺の現存する土地を古いレイヤ(階層)とみなし、過去から続く古いレイヤの上に新しいレイヤを重ねる、挿入することにより、40 階段に新たな価値を付加するという計画。 具体的には、現在の 40 階段から延びる道沿いの店舗をリノベーションし、新たなスキップフロアを道に重ねる計画、オリジナルの 40 階段と既存の 40 階段の間の建物を改築し、歴史を重視した新たな動線を生むという計画の 2 つが中心。

5. 提案作品のパネル

site analysis

an historical map of the site
 extension of character area
 discussion for the site with the site plan

concept

overlay and insert new layers to old layer
 we select the two key points, each points create new spaces and functions
 also, there will make a historical relationships

diagram

before
 step1
 step2
 step3

new layer to old layer
 insertion to old layer

plan

section 1

section 2

plan

section 1

section 2

plan

section 1

section 2